

THE BLACK FESTA

AUGUST.2026
BY POLA B.A
GINZA SAPPHIRE LOUNGE



最高峰の黒に出会う夜

B.A は 1985 年の誕生以来、
細胞から人へと一連の変化を生み出す働きをもつ
生命に着目してきました。
この視点から導かれたのが、バイオアクティブ理論。※
「人の可能性は広がる」というブランドポリシーのもと、
生命感あふれるような美しさを追求しています。
全ての色を内包し、多様性と無限の可能性を象徴する
「Inclusion Black」。B.A はそれを最高峰の黒と捉えています。

どうぞ、B.A の生命美に触れ、
最高峰の黒に出会う素敵な一夜をお過ごしください。

POLA

※人が本来持つ可能性を引き出す考え方のこと

Prologue
五人の妖精の招待

夏の夜、時間は夢の中へ溶けていく。
グラスを掲げると、五人の妖精が姿を現した。
彼らが話しているのは、たったひとつの問い。

「美しさを生み出すものは、何か」

五つの感覚で、B.Aの生命美を知る夜。

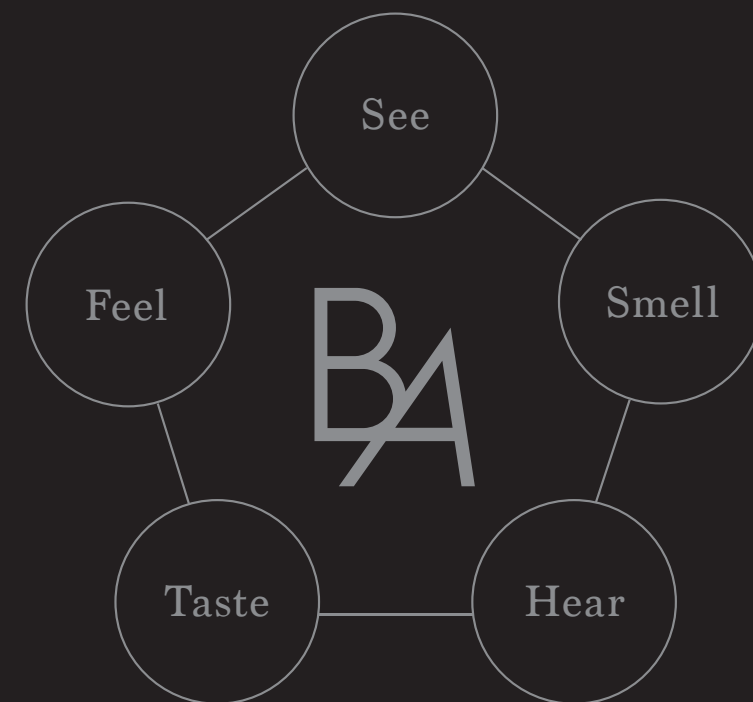
見る。聞く。味わう。触れる。香る。

体験に、決められた順番はありません。

心が動いた場所から、ページを集めてください。

すべてが揃ったとき、

B.Aの美しさを支えるものが見えてきます。



Enjoy your sensory journey.

Page 1
声の宣言

「美しさは、耳から始まる」

暗闇の中で、ひとりの妖精が囁いた。
まだ姿のないものを信じさせ、
ひとつの言葉で、
世界さえ変えてしまうのだから。

Hear

生命美に耳を澄ます
ー バイオアクティブ理論 ー

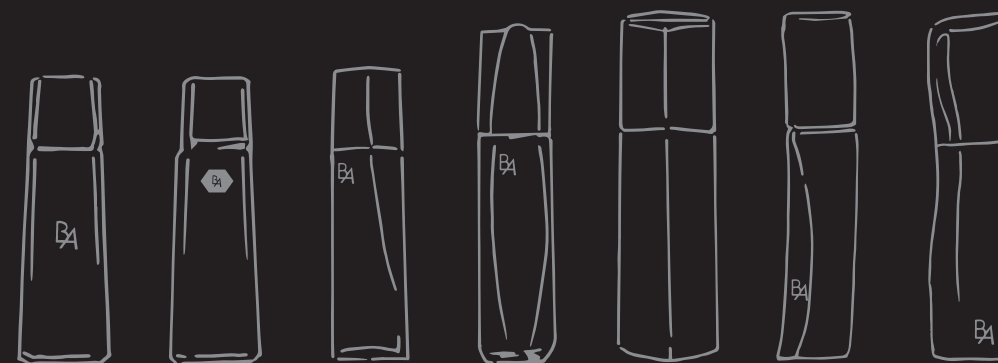
細胞の状態に耳を澄まし、その声を、聴き続ける。

バイオアクティブ理論とは、人が本来持つ可能性を引き出す思想です。

B.Aは40年、生命美を追い続けています。

約37兆個の細胞。その一つひとつに潜む小さな変化を見逃さず、
その可能性を引き出す答えにたどり着くまで、問いをやめない。

そのすべては、再生するようなハリ肌をつくるために。



B.Aの歴史

1985年

2015年

2025年

現在のエイジングケア※1につながる
「バイオアクティブ理論※2」を提唱

B.A リサーチセンター※3
の発足

全域※4 ハリを目指す
第7世代 B.A へ

※1 年齢に応じたお手入れ

※2 人が本来もつ可能性を引き出す考え方のこと

※3 ポーラ化成工業 研究所

※4 顔全体に使用すること

B.A

See

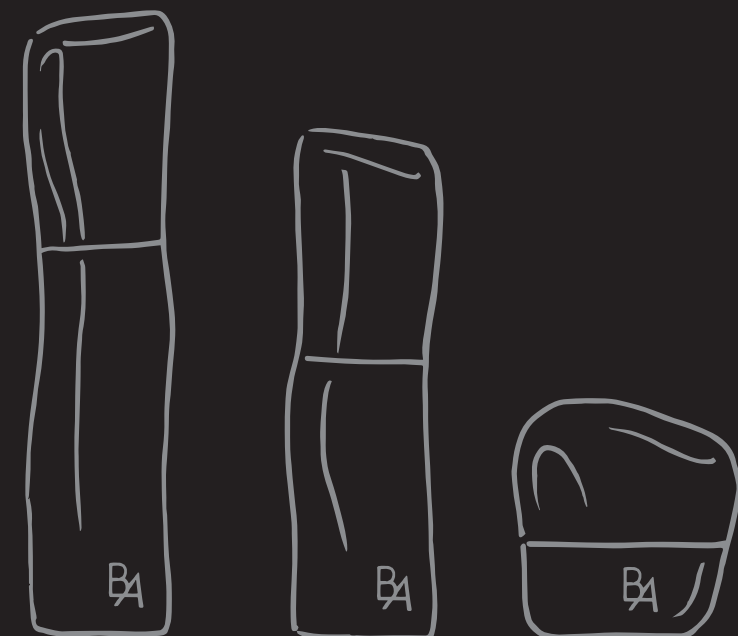
生命美をあらわす、ボトルデザイン —躍動の予兆—

人の身体と同じように、一本の直線も使わない。

曲線のみで構成されたフォルムが、
強さも弱さも内包し、柔軟で多様な人の美しさを形にする。

あらゆる角度で表情を変え、
見る人の印象さえ変容させる、ひとつの輪郭。

それが、「躍動の予兆」です。



「音が、目で見る美しさに勝てるものか」

月光のもと、ある妖精が、黒い輪郭を照らした。
目に映って初めて、可能性は姿を持つ。
そう言って、隣の妖精を見返した。

Taste

Page 3

一皿の誘い

「見るだけでは、美しさを味わえない」

森の実を運ぶ妖精が、黒い一皿を差し出した。
舌で知ってこそ、香りも温度も食感も、
身体の内側で、ひとつになる。

BA



PÂTISSERIE
ASAKO IWAYANAGI

notre inspiration, c'est vous.

— 最高峰の黒の味覚 —

B.A を形づくる、深い黒、香り、テクスチャー、そして生命感。
その一つひとつを分解し、PÂTISSERIE ASAKO IWAYANAGI が

五つの味覚体験へと再構成しました。

濃厚ななめらかさの中に、次々と移り変わる香り、
温度、食感を重ねる。

口にした瞬間だけではなく、食べ終えたあとに残る余韻まで。

B.A の複層的な美しさを、
今夜だけの「黒の 5 品」に仕立てています。



イカ墨クレープロール／鹿肉ラグーと黒米のリゾット 黒ゴマのチュイール
葡萄とベルガモットの炭タルト／漆黒グラサージュ プチドームムース

B.A プチパルフェ

BA

Page 4

一滴の断言

「味は消える。
けれど、触れた感覚は肌に残る」

糸を操る妖精が、一滴をそっと肌へ落とした。
美しさは、触れた瞬間に目を覚まし、
手を離れたあとも、肌の上で息づいている。

Feel

ー生命感あふれるような全域^{※1}ハリー

とろみがあるのに、すばやくなじむ。

やわらかいのに、ハリを感じる。

相反する感触を両立するため、

ローションとミルク、それぞれに成分調整を重ねました。

触れた瞬間の心地よさまで、妥協しない。

B.A は、肌で感じる感触研究にこだわっています。



うるおいで
満たされるような、
引き締まったハリ

B.A ローション

POINT① | 化粧水でありながら、
まるで美容液。
美容成分濃度がPOLA化粧水平均の約2.7倍。※3

POINT② | じゅわっとすばやい浸透感。
肌なじみ速度が約115%にアップ※4。



輝き^{※3}と
ツヤのある、
やわらかなハリ

B.A ミルク

POINT① | 輝きハリベール搭載。
やわらかな輝きツヤと透明感のある柔軟ハリを
目指す処方設計。

POINT② | 濃密感触の美容乳液。
やわらかくほぐれるようになじみ、触れた瞬間
ふっくらとするような感触。

※1 使用範囲全体

※2 うるおいによるツヤ

※3 B.A、APEX、医薬部外品を除くPOLA化粧水平均値との比較(2024年時点)

※4 自社従業員比

BA

香りの囁き

「触れられなくても、
香りなら時を越えられる」

香りをまとった妖精が、ページにひと吹きした。
声も、姿も、味も、感触も。
香りは、過ぎた夜のすべてを“いま”へ連れ戻す。

ー生命美を感じる選ばれた香りー

わずかな違いを見極めるために、
七カ月間、香りの強い食事を遠ざけた研究員がいました。

その果てに選び抜いたのは、
みずみずしいグリーンシトラスに、あたたかみのあるオークウッドを加えた、
フローラルウッディアコードの香り。
ローションは、みずみずしい空気と水。
ミルクは、雲間から差す光。クリームは、あたたかな炎。

アイテムごとに異なる情景を与え、
重ねるほど、心に浮かぶ景色まで移り変わっていく。
スキンケアが、自分と向き合う特別な時間になるように。
それが、B.A の香りのこだわりです。



Epilogue

五人の主張を聞き終えたとき、
ひとつの答えにたどり着く。

「美しさは、飽くなき探求を
積み重ねることで見えてくる」

そのこだわりが、生命美という考え方を形づくる。
多様性と無限の可能性を秘めた黒は、
その象徴なのだ。

ポーラ最高峰ブランド

BA